

# 都市と農山村との交流による地方創生事業

平成27年2月1日(日)、東京都品川プリンスホテルにて、「都市と農山村との交流による地方創生事業(主催：上土幌町・上土幌町交流と居住を促進する会)」を行いました。

首都圏の方々に対して、まちづくりの紹介や「お試し暮らし」「移住・定住」「子育て・教育」「福祉」「雇用・起業」等の相談、プロモーション活動を行い、さらに交流を深めることで地域の活性化を図ることを目的としました。



▲どの試食も大好評で「ふるさと納税以外でも購入させていただきます」などの声もありました。物販やAIRD Oと観光協会協賛の「航空券+宿泊券」が当たる抽選会も、大盛況でした。

町ホームページでの募集のほか、平成26年度7月以降に寄付後も町からの情報が見たいとした首都圏在住の5255人の方々にご案内を送りました。そのうち期限までに申し込みがあったのは、1815通、3542人。抽選により、515組1000人の方を招待いたしました。

本町からは、ふるさと納税感謝特典生産者の方々(下りムヒル、十勝養蜂園、Aコープピナ、ノベルズ食品、十勝しんむら牧

## ふるさと納税大感謝祭 2015in 東京



▲石破茂地方創生大臣、中川郁子衆議院議員、高橋はるみ北海道知事も来場されました。予定時間を大幅に超過し、試食や町の取り組みについての意見交換をしました。石破大臣は、あいさつの中で、「上土幌町のように頑張る町を国としても応援していきたい」と話されました。

場、加藤農場)や町、町議会、農協、商工会、建設業協会、NPO法人上土幌コンシェルジュ、観光協会、帯広信用金庫、十勝信用組合など、約60人で上京。その他、上土幌町東京会、北海道大学、首都大学東京、北海道、ゆかりのある企業などの協力を得て、総勢110人でのお出迎えとなりました。

また、3階においては、町の概要を伝えるセミナーと相談会を開催し、NPO法人上土幌コンシェルジュ提供の上土幌町プロモーションDVDの上映を行いました。

参加した寄付者の方々からは、「試食もおいしかったです」、また、「寄付します」「上土幌町がより身近に感じました。北海道に行く際には、ぜひ、立ち寄りたい」など、今後のまちづくりへの激励をいただきました。

ふるさと納税をきっかけに、約5000人の方々に上土幌町の名前を知ってもらいました。今後は、その方々により町を知ってもらいたい、観光や移住などに考えていきます。



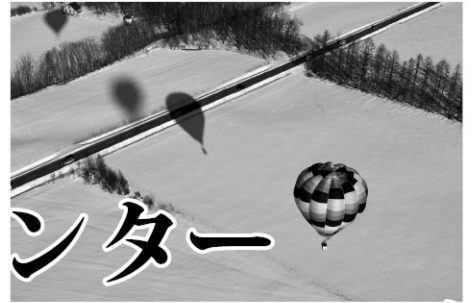
▲上土幌町ゆかりの方々も来町され、久しぶりの再会を楽しんでいました。

▲参加者は、大型パネルや役場周辺の再整備の模型に関心をもって説明を受けていました。



▲3階は、20分ほどのセミナーを行い、その後、個別相談を行いました。会場には、170人が訪れ、そのうち80人は、「夏に訪れたい」「生活体験したい」など個別に相談を受けていました。

# 第33回 上士幌ウインター バルーンミーティング



第33回上士幌ウインターバルーンミーティングが2月7日(土)、8日(日)の2日間の日程で開催され、全国から17チームが参加しました。

開会式では、昨年9月の御嶽山噴火で犠牲となり、本町の熱気球大会に参加していた池田啓亮さんと山本奈津子さんへ黙とうが捧げられました。また、上士幌バルーンクラブは、池田さんをしのぶ追悼フライトを行い、遺影と池田さんの熱気球の柄と同じ白黒のチェックフラッグを持って飛び立ちました。

初日は、絶好の十勝晴れの中、一斉離陸が行われ、上士幌町市街地西側には、色とりどりの熱気球が舞いました。

会場では、「すごいね、すごい気球が大きい」と興奮ぎみにカメラのシャッターを押す親子も見受けられました。

2日目は悪天候のため、競技フライトはキャンセルとなりました。



◀青空に映えるとてもきれいな黄色い熱気球がチーム雪の舞の気球名「北海道」です。

## 初日、競技JDG\*1位の チーム雪の舞 にインタビュー！

2日目の競技フライトがキャンセルとなったため、初日の結果のみとなりました。

初日は、2つのタスク\*(競技種目)と賞金レースが実施されました。両タスクで1位・2位となり、また賞金レースでも優勝した「チーム雪の舞」(帯広市)の代表パイロット、

篠田博行さんは、「的確に風を読み、ゴール地点までぴったりのラインを見つけることができました。今日は風と一心同体になれたと思います。いただいた賞品はチームのみんで山分けします」と笑顔で話してくれました。



### 【行われた2つのタスク】

#### ▶ JDG(ジャッジ・デクレアド・ゴール)...

競技本部が指定したゴールに向けて競技気球が飛行し、ターゲットの中心に向かってマーカーを投下します。

#### ▶ HWZ(ヘジテーション・ワルツ)...

JDGとよく似ていますが、ターゲットが複数設定されるのが大きな違いです。選手はそのうちの1つを選んで飛行し、マーカーを投下します。



今年もブゼンバルーンクラブの気球名『カラス天狗Ⅱ世』が、「上士幌Ⅲ号」と共に、バルーン会場を盛り上げてくれました。